

▼ラソダ錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】ルラシドン塩酸塩 Lurasidone Hydrochloride 【分類】抗精神病薬/双極性障害のうつ症状治療薬

【単位】▼20mg・▼40mg・▼60mg・▼80mg/錠

【常用量】

■統合失調症：40mg/日 [最大 80mg]

■双極性障害におけるうつ症状の改善：開始量 20mg, 増量幅 20mg, 維持量 20～60mg/日

【用法】1日1回, 食後

【透析患者への投与方法】腎障害患者の投与方法に準じる (5) Ccr 30 未満でAUCが2倍 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】

■統合失調症：Ccr<50：開始量 20mg, 増量幅 10mg, Ccr<30：維持量 20～60mg

■双極性障害：Ccr<50：開始量 10mg, 増量幅 10mg (1)

【特徴】ドパミン D2, セロトニン 5-HT2A, 5-HT7 受容体への拮抗作用, 5-HT1A 受容体への部分作用を有する非定型抗精神病薬。統合失調症患者における精神症状, 双極性障害患者におけるうつ症状に効果を認める。空腹時投与で吸収率が落ちるので, 食後投与が原則。

【主な副作用・毒性】悪性症候群, 遅発性ジスキネジア, 痙攣, 高血糖, 肺塞栓症, 横紋筋融解症, 無顆粒球症, 精神神経症状, 錐体外路症状, プロラクチン上昇, 消化器症状, 肝障害, 排尿障害, 体重増加など多数

【安全性に関する情報】過量投与例で錐体外路症状, 昏睡, 呼吸抑制, 不整脈, 低血圧等の出現 (1)

傾眠, 血中プロラクチン上昇, 不穏が主な副作用で用量依存的 (Hu C, et al: Clin Drug Investig 2017 PMID: 28695535)

【吸収】空腹時投与で吸収率低下 (1, Preskorn S, et al: Hum Psychopharmacol 2013 PMID: 24014143)

【F】12～18% (1) 9.2～19%が吸収 (1)

【tmax】1～3hr (Greenberg WM, et al: Clin Pharmacokinetics 56: 493-503, 2017 PMID: 27722855)

【代謝】CYP3A4 で代謝 (1) 一部の代謝物に活性はあるが寄与率は低い (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 0.2%以下 [po, 48hr まで] (1) P-gp, トランスポーターの関与は低い (1)

【t1/2】22hr (1) 18hr (Greenberg WM, et al: Clin Pharmacokinetics 2017 PMID: 27722855) 18～25hr (Hu C, et al: Clin Drug Investig 2017 PMID: 28695535)

【蛋白結合率】99.8%以上 (1)

【Vd/F】6173 L/man (Greenberg WM, et al: Clin Pharmacokinetics 2017 PMID: 27722855)

【MW】529.14

【透析性】資料なし (1) 除去されないと思われる (5)

【OW 係数】

【薬物動態】治療量で線形 (Hu C, et al: Clin Drug Investig 2017 PMID: 28695535)

【相互作用】CYP3A 阻害剤, 誘導剤との併用禁忌・注意多数あり (1)

【主な臨床報告】双極性障害での効果は用量依存的 (Chapel S, et al: Clin Ther 2016 PMID: 26730454)

薬理作用における解明点と不明点 (Fountoulakis KN, et al: Eur Neuropsychopharmacol 2015 PMID: 25596883)

【更新日】20241007

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。